

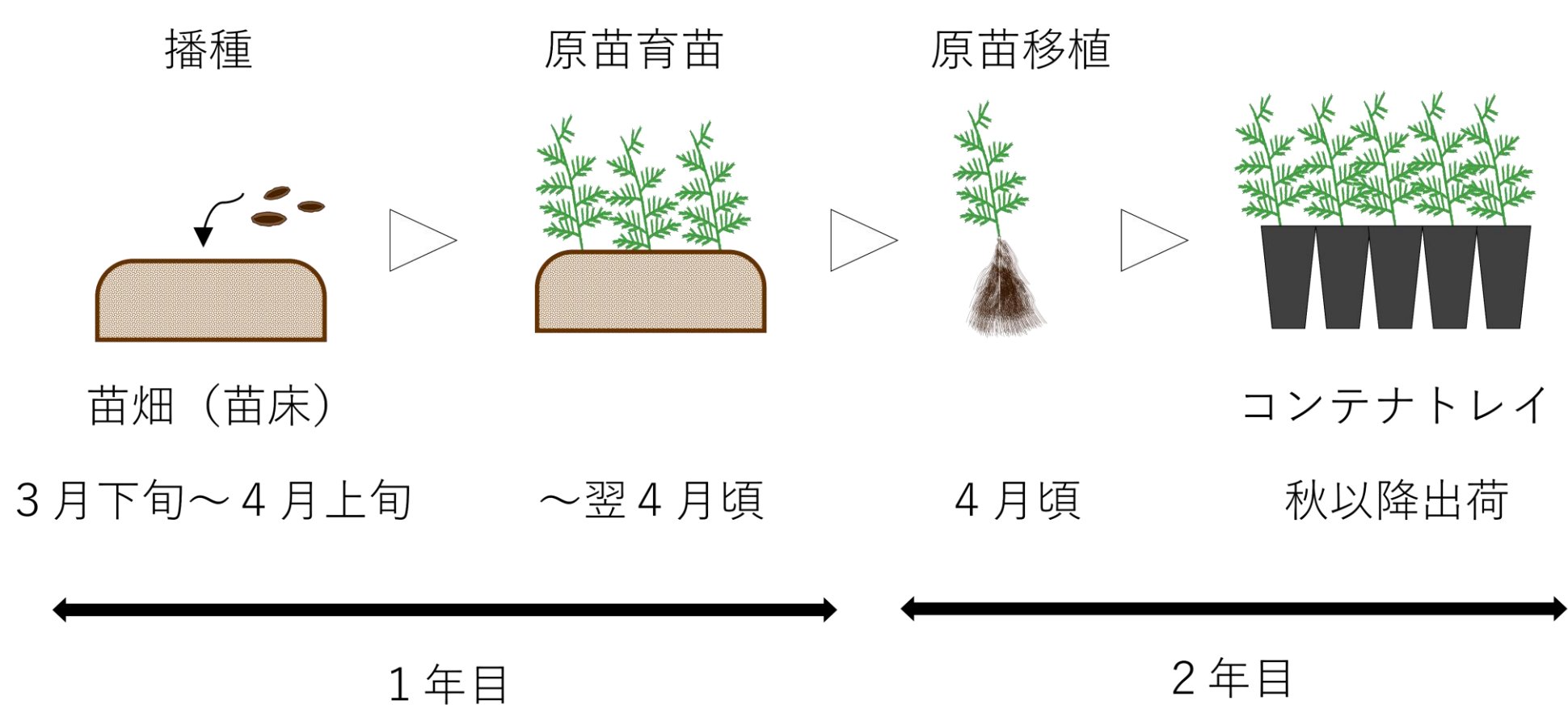
少花粉コンテナ苗木の安定生産

セル育苗によりヒノキコンテナ苗の生産作業を平準化・効率化できます

【背景・目的】

- 岡山県では、森林機能の持続的な発揮や花粉の飛散低減に向けて、伐採跡地への**少花粉スギ・ヒノキ苗木の植栽（再造林）**を推進しています
- これには、**コンテナ苗木の安定生産**が必要なため、**セルトレイで育てたセル原苗をコンテナトレイに移植する方法**に着目し、効率的な生産方法を研究しています

従来 苗畑での原苗生産



セル原苗（ヒノキ）



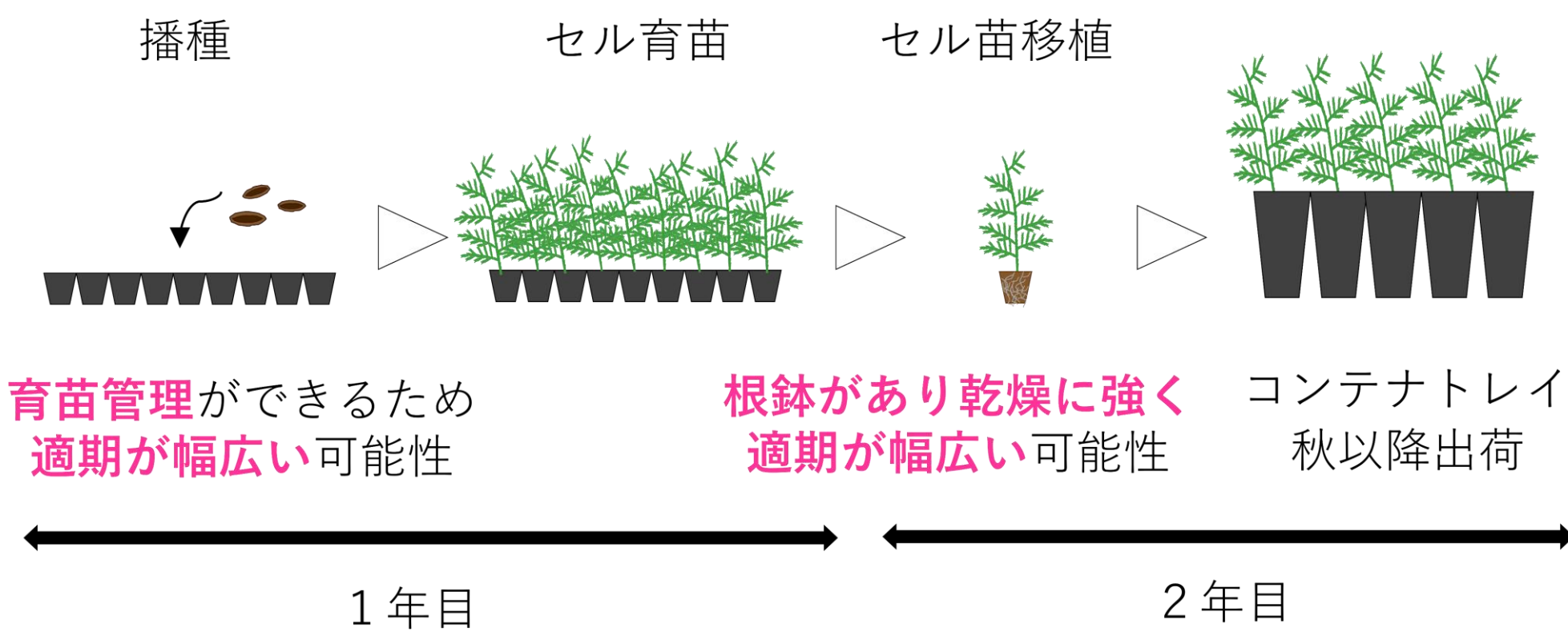
コンテナ苗（ヒノキ）

■従来課題

▷ 生産拡大が困難、担い手不足の懸念

- ・春季に播種や移植作業が集中（人手不足）
- ・天候に左右されやすい
- ・移植作業に経験を要する 等

研究 セルトレイでの原苗生産



■研究利点

▷ 労務分散による生産拡大、新規参入促進

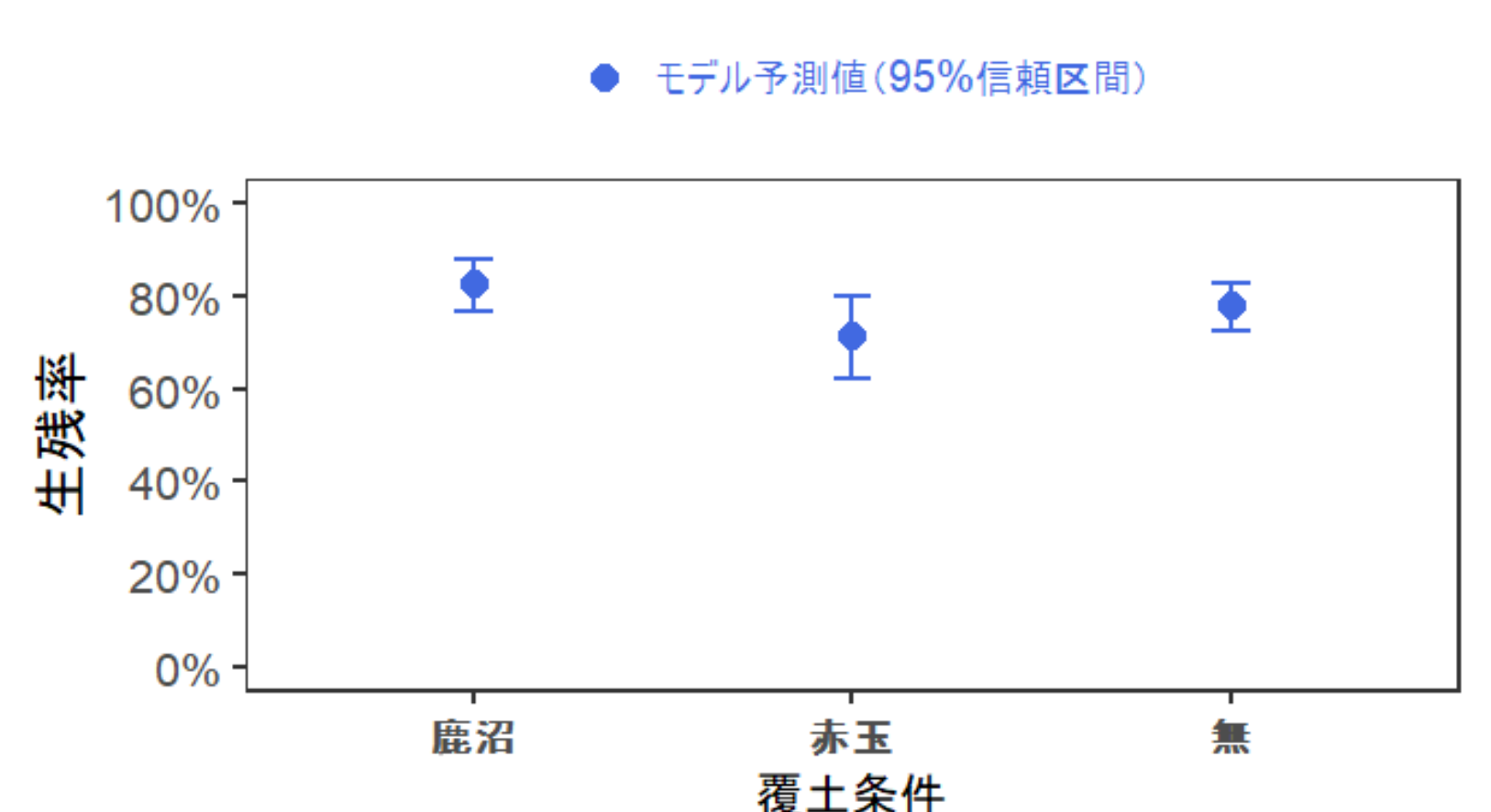
- ・播種や移植時期が幅広い
- ・移植作業が容易
- ・ハウス等での育苗管理が可能 等

【成果の一例】

① 夏季にセルトレイに播種しても8割以上が生残

- ▷ 播種時期を分散できることがわかりました
- ▷ 様々な育苗条件で最適な育苗方法も調べています（例えば、排水性が高い鹿沼土での覆土が効果的）

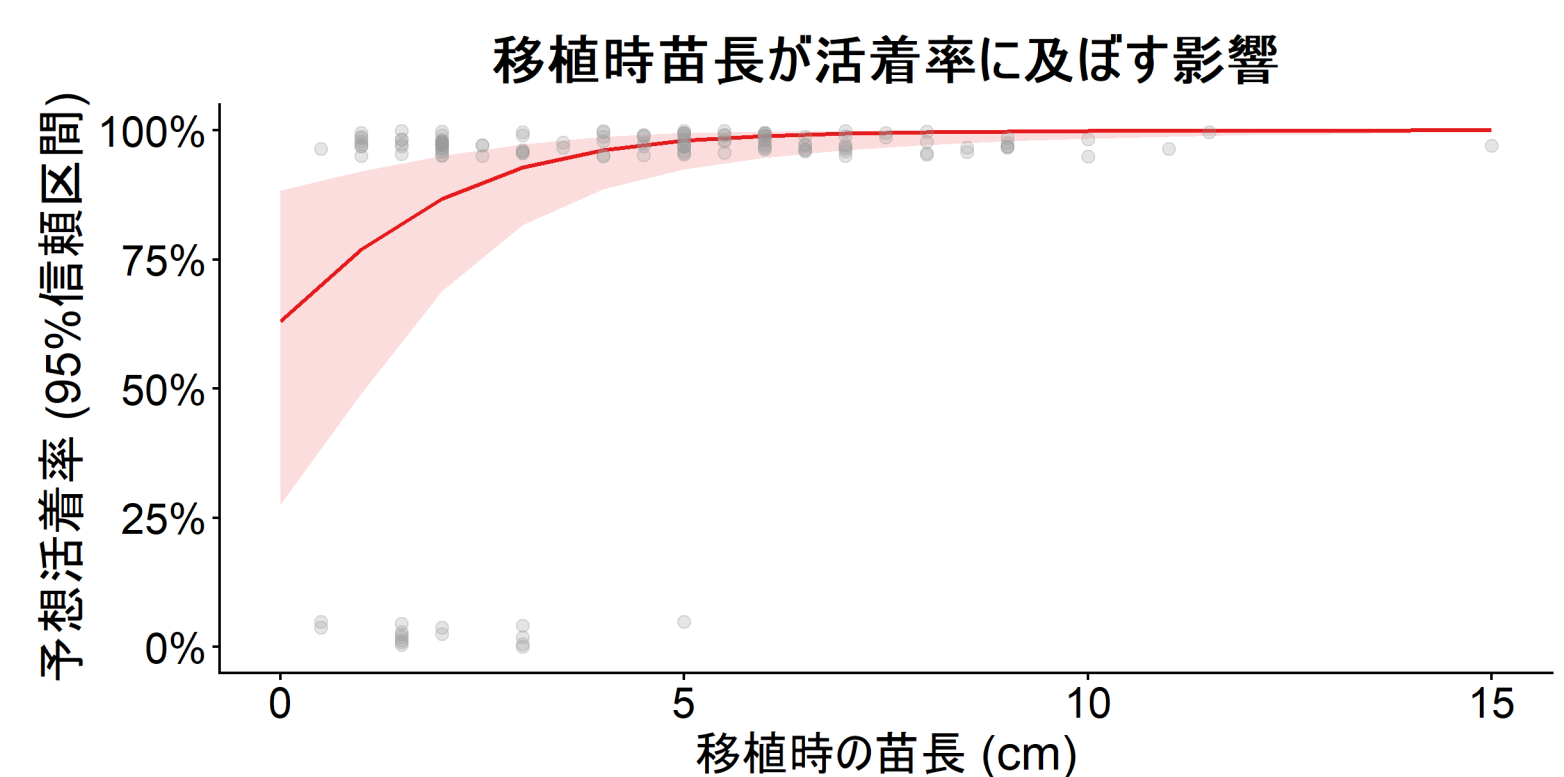
覆土による生残率の比較



7月下旬にセルトレイに播種

② 夏季にコンテナトレイに移植しても、移植時苗長が5cm以上であれば、9割程度が活着

- ▷ 移植時期を分散できることがわかりました
- ▷ セル育苗と同様に最適な育苗方法も調べています



6月下旬にコンテナトレイに移植

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター 森林研究所
勝田郡勝央町植月中1001

TEL. 0868-38-3153